

2 . 成果一覧

(1) 論文発表

原著論文(国内) 49件

丁国際、徐開欽、西村修、稲森悠平、須藤隆一

「浄水処理における細菌の塩素消毒に及ぼす線虫類の影響」

日本水処理生物学会誌 34 (4) 253-265, 1998

加藤智博、徐開欽、千葉信男、榎内孝信、細見正明、須藤隆一

「浚渫^{スラック}上におけるヨシ原の創出手法の開発とその評価」

土木学会論文集、7(594)、1-10,1998

徐開欽

「浚渫^{スラック}を用いたヨシ原の育成を目指して」

土木学会誌、83(4)、52-53,1998

長坂實上、佐藤義典、王宣

「活性汚泥法において有機物負荷が硝化速度に及ぼす影響」

環境技術、27 (4)、282-288、1998

吳曉磊、稲森悠平、戎野棟一

「*Alcaligenes faecalis* を導入した好気活性汚泥法における N₂O 放出および窒素除去特性」

水環境学会誌,22(3),215~221,1999

木持謙、水落元之、稲石高雄、稲森悠平、市川雅英、大石亮

「生物学的嫌気好気活性汚泥法における N₂O 発生に及ぼす SRT,DO の影響」

水環境学会誌,22(2),145~151,1999

塩田勉、山田一裕、千葉信男、須藤隆一

「ヨシ植栽水路における充填担体の空隙率が水路の窒素・リン除去能力に及ぼす影響」

水環境学会誌,22, 505 - 510,1999

Norio Iwami, Tomoaki Itayama, Norio Sugiura, Yuhei Inamori and Masatoshi Matsumura

「Predation and degradation characteristics of *Microcystis* forming water bloom by combination of functional microanimals」

Jap.Jour.Water Treatment Biology, 35(4), 225-233,1999

Naoshi Fujimoto, Asuka Iida, Masaharu Suzuki, Rikiya Takahashi and Yuhei Inamori

「Effect of metazoa on proportion of physiologically active bacteria」

Japanese Journal of Water Treatment Biology, vol.35,279-284,1999

徐開欽、加藤智博、稲森悠平、西村修、細見正明、須藤隆一
「浚渫ハドに創出した人工ヨシ原湿地の水質浄化機能評価」
用水と廃水、41(6)、26-34,1999

小島均,飯村修志
「湖沼底泥(ハド)を活用した生物付着性の高い多孔質セラムックス：ハドセラムックス製造技術の開発第1報」
茨城県工業技術センター研究報告,27,73～76,1999

高木敏夫,小沼和博
「生活排水の高効率窒素・リン除去法の開発(第1報)」
茨城県公害技術センター研究報告,第9号,27-34,1999

稲森悠平,吳曉磊,木持謙
「*Alcaligenes faecalis*の従属栄養性硝化・脱窒特性とN₂O抑制型高度窒素除去プロセスへの適用の評価」
水環境学会誌,22(11),904-909,1999

李先寧,金主鉉,西村修,山田一裕,千葉信男,丁国際,須藤隆一
「活性汚泥から分離した殻葉状仮足類 *Arcella vulgaris* の増殖に及ぼす環境因子の影響」
水環境学会誌,22(7)568-573,1999

長坂實上,佐藤義典,山下尚晃
「高濃度分離濃縮下水汚泥の特性と微生物活性助剤(サポニン)添加の嫌気性消化に対する影響について」
環境技術,28(5),33-39,1999

佐藤義典,長坂實上,山下宏,渡辺昭二
「嫌気・好気法(AO法)における硝化促進運転による活性汚泥の沈降性改善」
下水道協会誌,36(444),147-157,1999

長坂實上,佐藤義典,山下尚晃
「下水汚泥の嫌気性消化と微生物活性助剤(サポニン)の添加効果」
茨城大学工学部研究集報,第46巻,121-127,1999

長坂實上,荒又健夫,佐藤義典,打矢雅典
「理容業または美容業と住宅で併用する小型合併処理浄化槽の現地調査の結果について」
茨城大学工学部研究集報,第46巻,129-134,1999

長坂實上,荒又健夫,佐藤義典,打矢雅典

「理容業および美容業と併用する小型合併処理浄化槽の実態調査」
月刊浄化槽, 4月号, 10-14, 1999

稲森悠平, 丁国際
「合併処理浄化槽の高度化のための障害生物対策」
月刊浄化槽, 290(6), 56-63, 2000

鷲見博生
「多変量解析による霞ヶ浦の水質浄化対策に関する評価と今後の課題()」
水利科学 Vol.43, No256, pp.12~30, 2000

小島均, 飯村修志
「湖沼底泥(ハド D)を活用した生物付着性の高い多孔質セラミックス: ハド Dセラミックス製造技術の開発第 2 報」
茨城県工業技術センター研究報告, 28, 68~70, 2000

小島均, 飯村修志
「湖沼底泥(ハド D)を活用した生物付着性の高い多孔質セラミックスの開発: ハド Dセラミックス製造技術」
水 42(3), 24-31, 2000

中里広幸
「水耕栽培を組み込んだ環境低負荷・資源循環の窒素・リン除去総合システム『バイオパーク方式』」
季刊環境研究, No.119, 24~30, 2000

有田強
「微粒砂による高速凝集沈殿処理アクティブプロセス」
産業と環境, 29(10), 87~89, 2000

佐藤義典, 長坂實上
「嫌気-好気-無酸素-好気法(AOAO法)を用いた窒素およびリンの除去特性」
下水道協会誌, 37(450), 157-168, 2000

佐藤義典, 長坂實上
「下向流方式での2層構造を用いた窒素とSSの同時除去」
水環境学会誌, 23(5), 292-297, 2000

佐藤義典, 長坂實上
「一時的な流入水の変動が有機物の分解, 硝化速度および酸素利用速度に与える影響」
下水道協会誌, 37(456), 139-151, 2000

Yoshinori SATO and Minoru NAGASAKA

「 Estimation of Degradation Characteristics of Organic Matter and Nitrification Conditions in the Sequencing Batch Reactor using Oxygen Uptake Rate 」
日本水処理生物学会誌 , 36 (4) , 205-212 , 2000

杉浦則夫、岩見徳雄、板山朋聡、稲森悠平

「 微小動物定着型リアクターによるアオコ増加抑制能の評価 」
日本水処理生物学会誌 Vol.37, No.2, pp.55-61, 2001

Chika Tada, Osamu Nishimura, Tomoaki Itayama, Yuhei Inamori, Masatoshi Matsumura, Ryuichi Sudo

「 The Influence of Materials Released from Lake Sediment on the Growth of Three Kinds of Algae 」
Japan Society of Water Treatment Biology, Vol.37, No. 4, pp.161-172, 2001

鷺見博生

「 多変量解析による霞ヶ浦の水質浄化対策に関する評価と今後の課題 () 」
水利科学 Vol.44 , No257 , p.72 ~ 94 , 2001

高木敏夫、小沼和博

「 生活排水の高効率窒素・リン除去法の開発 (第 3 報) 」
茨城県公害技術センター研究報告 , 第 11 号 , 67-78, 2001

前川孝昭、馮伝平

「 電気化学的プロセスによる窒素・リンの削減と資源化技術、 資源化をめざした回収・資源化動向と技術 」
資源環境対策、 37(2), 147-151, 2001

高井智文、岩島良憲、大島純治、村澤崇、西田克範、小松央子

「 ジルコニウム系吸着剤による脱リンと資源化技術 」
資源環境対策 Vol.37 No.2 pp.157~163 , 2001

稲森悠平、丁国際、岩見徳雄、藤井邦彦

「 有用微生物の機能強化・製剤化と輪虫類活用高度水処理技術の開発 」
月刊エコインダストリー Vol.6 No.8 pp.33~42 , 2001

松村正利、カタリノ アルファファアラ

「 電気浮上を利用したアオコ除去システムの開発 」
月刊エコインダストリー Vol.6 No.12 pp.12-18, 2001

山本泰弘、三浦勇二、井上充、藤本尚志、稲森悠平、松村正利
「嫌気ろ床・生物ろ過法における物理化学的リン除去法導入による処理性能の評価」
日本水処理生物学会誌, Vol.38, No.1, pp.47-55, 2002

前川孝昭、磯田博子、馮伝平、杉浦則夫
「環境ホルモンの活性種による分解」
用水と廃水、44(1), 56-60, 2002

佐藤義典、長坂實上
「空気量の違いに対する活性汚泥の沈降性と硝化反応の特性」
下水道協会誌, 39(479), 98-106, 2002

山本泰弘、森泉雅貴、藤本尚志、稲盛悠平、松村正利
「鉄電解リン除去法を導入した生物ろ過における負荷変動が発生汚泥および処理性能に及ぼす影響評価」
生態工学、14(2)19 - 25、2002

南章雄、野村名可男、松村正利、
「密度流拡散方式による閉鎖性水域の浄化技術」
資源環境対策 Vol.38 No.9, pp867-873, 2002

丁国際、須藤隆一、長坂實上、佐藤義則、稲森悠平
「生活排水と理容美容排水を混合処理した場合の処理特性と微小動物相」
浄化槽研究、Vol.14, No.1, (掲載決定) 2002

長坂實上、丁国際、荒又健夫、佐藤義典、稲森悠平
「理容美容薬剤を含有する生活排水の処理特性、微小動物相に及ぼす影響評価」
浄化槽研究 Vol.14, No.1, (掲載決定) 2002

佐藤義典、長坂實上、丁国際
「硝化促進型 SBR プロセスにおける処理特性と汚泥沈降性に及ぼす攪拌の影響」
日本水処理生物学会誌, Vol.38, No.4, (掲載決定) 2002

水野谷剛、森岡理紀、氷鮑揚四郎
「霞ヶ浦水質改善のための汚濁負荷削減技術評価と最適環境政策」
環境共生(日本環境共生学会)(印刷中) 2002

水野谷剛、森岡理紀、氷鮑揚四郎
「霞ヶ浦流域における水質改善技術評価と最適環境経済政策に関する研究」

地域学研究 (印刷中) 2002

長坂實上、荒又健夫、佐藤義典、丁国際、稲森悠平

「ヒモ状担体を使用した高度処理型合併処理浄化槽の処理特性と微生物活性助剤 (キラヤサポニン) の添加の効果」

浄化槽研究 (印刷中) 2002

Ken-Yuan Chuang, Chris P. Norman, Norio Sugiura, Chuanping Feng, Takaaki Maekawa

「Effect of removal of hazardous metals from effluent of biological treatment onto chitosan using electrochemical processing,」

農業施設 (投稿中) 2002

原著論文 (国際) 26 件

Hiroaki Furumai, Minoru Nagasaka, and Yoshinori Sato

「Modelling of nitrogen removal in sequencing batch reactors treating domestic sewage」
Indian Journal of Engineering & Materials Sciences, Vol.5, 173-181, 1998

彼谷邦光

「A Photodetoxification Mechanism of the Cyanobacterial Hepatotoxin Microcystin-LR by Ultraviolet Irradiation」

Chmical Research in Toxicology 11(3), 159-163,1998

彼谷邦光

「Two New(E)-2-Amino-2-Butenoic Acid(Dhb)-Containing Microcystins Isolated from *Oscillatoria agarghii*」

Tetrahedron54,463-470,1998

呂錫武, 稲森悠平, 丁国際

「有毒藍藻及藻毒素生物降解の初步研究」

中国環境科学, 19(2), 138-140, 1999

T.Shintani,W-T.Liu,S.Handa,Y.Kamagata,S.Miyaoka,T.Suzuki and K.Nakamura

「*Micropruina glycogenica* gen.nov.,sp.nov.,a new Gram-possitive glycogen-accumulating bacterium isolated from activated sludge」

Int.J.Syst.Evolutionary Microbiol.,50,201-207,2000

N.Iwami, N.Sugiura, T.Itayama and M.Matsumura

「Control of Cyamobacteria, Microcystis, Using Predatory Micronimals Inhabiting Bioreactor」